

## 第5回新居浜市水素社会推進協議会議事録

- 日時 平成28年3月18日（金）10:00～10:50
- 場所 新居浜市役所3階 応接会議室
- 出席機関 会員：愛媛大学、新居浜高専、住友化学(株)愛媛工場、住友共同電力(株)、新居浜機械産業協同組合、えひめ東予産業創造センター、新居浜市  
オブザーバー：四国経済産業局、愛媛県、西条市、伊予銀行、愛媛銀行  
有識者：四国岩谷産業(株)  
事務局：新居浜市

### ○議事次第

- 1 開会 進行：新居浜市経済部産業戦略監
- 2 市長挨拶 新居浜市長挨拶
- 3 議題 進行：会長（新居浜市経済部長）
  - (1) 新居浜市水素社会推進基本構想（案）について
  - (2) その他

#### 1. 開会

##### 〈産業戦略監〉

ただいまから第5回新居浜市水素社会推進協議会を開会いたします。

開会にあたりまして、新居浜市長からご挨拶申し上げます。

#### 2. 市長挨拶

本日は、年度末のお忙しいところ、「第5回 新居浜市水素社会推進協議会」にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、平素は、新居浜市政の発展、とりわけ地域経済の活性化に格別のご尽力をいただいておりますことに対しまして、この場をお借りして、厚くお礼を申し上げます。

さて、水素社会の推進に関しましては、人口減少問題への対応のため、昨年12月に策定しました総合戦略の基本目標の一つの施策、「新産業の創出、創業の支援」において、水素をはじめとする次代を担うエネルギー関連産業への支援の充実を明確に位置づけ、水素社会実現に向けた取組を推進していくこととしております。

今年度最終となる本日の協議会では、水素社会推進のための具体的施策の方向性を示す「新居浜市水素社会推進基本構想」についてご議論いただき、当市の新たな産業の創出につなげていきたいと考えております。ご参加いただいている皆様の知見をいただきながら、有意義な会議となりますことを願いまして、簡単ではございますが御挨拶とさせていただきます。

### 3. 議題

〈産業戦略監〉

(資料の確認)

それでは、ここからの議事進行について、寺村会長からお願いいたします。

#### (1) 新居浜市水素社会推進基本構想(案)について

〈会長〉

それでは、議事進行を務めさせていただきます。

昨年6月に本協議会を立ち上げまして、この地域において水素社会実現に向けた検討をはじめ、セミナー、講演会を交えながら本日第5回の協議会を開催することとなりました。

皆様からいろいろなご意見やご提案をいただき、本協議会として水素社会推進のための基本的方向を定めた構想(事務局案)を取りまとめることができましたので、その内容について事務局から説明いたします。

〈事務局〉

資料により「新居浜市水素社会推進基本構想(事務局案)」を説明。

〈会長〉

水素社会推進基本構想の事務局案について、何かご質問、ご意見等ございませんでしょうか。皆様からの忌憚のないご意見をお願いいたします。

愛媛大学八尋先生、いかがでしょうか。

〈愛媛大学〉

基本的な方針としましては、今の説明で理解しましたが、来年度以降具体的にどういう取り組みをするかということはきちんと議論して決めていかないといけないと感じました。

〈会長〉

新居浜高専桑田先生、いかがでしょうか。

〈新居浜高専〉

大きな方向性については問題ないかと思いますが、視野としてもう少し広めに見たときに、環境問題、温暖化問題のキーワードを目的に盛り込んだ方が市民に理解を得やすいのではないかと思います。

〈会長〉

住友化学さんいかがでしょうか。

〈住友化学〉

今回の水素社会推進協議会の目的のところに地域対応、地域振興のためにということでしたので、それに向けて具体的なものを作っていこうと、そのために大枠を勉強してニーズがあるところ、進めていこうとする方針については、概ね了解ですし賛成するところです。

住友化学としてもその中で関われる部分については今後とも連絡を密にさせていただきます。

<会長>

住友共同電力さんいかがでしょうか。

<住友共同電力>

当社は非常に長い歴史がありますが、新しい技術としては疎いところもあります。水素をはじめとする燃料電池等に関しましても非常にハードルが高いと考えておりますが、一方で温暖化対策という話も出ており、既存の発電に水素の活用を考えたとき、今のところ再エネ由来の水素ではないですがその活用によりCO<sub>2</sub>を削減できるということも考えておりますし、更にはガスタービンも含めた検討も必要と考えられますことから新居浜市で考えられております基本構想の推進に協力していきたいと思っております。

<会長>

機械産業協同組合さん、地場の産業としていかがでしょうか。

<機械産業協同組合>

構想案としては基本的によろしいかと思っております。地元産業界としては残念ながら現場の力はあっても世の中の動きとかは把握できていない部分があるかと思っております。このような機会をいただいて最新情報に触れながら、我々の技術も伸ばしながら、少しずつでもレベルを上げていながら具体的方向性の中で役割を果たしたいと考えます。その中で少しでも技術の幅が広がればと思っております。

<会長>

えひめ東予産業創造センターさんいかがでしょうか。

<えひめ東予産業創造センター>

新居浜市の計画が3つ記載されているがその関係はどのようなになっているのでしょうか。

<産業戦略監>

長期総合計画は新居浜市全体の10年間の目指す目標で、総合戦略は、国の総合戦略に基づいて地域でも人口減少問題に対応するために定めたもので長期総合計画よりは的は絞られたものです。ものづくり産業振興ビジョンは新居浜の地元産業の振興をどうしていくのかという実施計画的なもので今年度改訂したものです。上位計画からさらに深く絞り込んでいく計画となっております。

<えひめ東予産業創造センター>

私共センターとしては次世代技術研究会を開催しているが、その一環として水素社会推進のために関連する人材育成やセミナー、勉強会とかは協力できると考えております。

<会長>

オブザーバーとして、四国経済産業局さんから何かありますでしょうか。

<四国経済産業局>

基本構想として来年度以降の体制もしっかりと取り組みを記載されているかと思いますが、国としても水素・燃料電池の関係ではロードマップの見直しを行っており、水素ステーションの設置数も将来的には320箇所まで増やしていくことを検討しており、水素・燃料電池関連について推進していきたい。四国の中で具体的に取り組みが進められれば、当局としても施策などの支援ができるのではないかと考えております。

<会長>

あと、オブザーバーの方で何かご意見はございませんか。

高専からご意見がありました目的に環境面、地球温暖化問題の記述を加えることは検討したいと思います。構想案について、それ以外はおおむね事務局案でご了承いただいたということによろしいでしょうか。修正については会長一任で行わせていただき、最終版を別途送付することとしたいと思います。

続きましてその他の議題ですが、協議会のあり方とか進め方とかで何かご意見はございますでしょうか。

<愛媛大学>

基本構想のメニューを見ますと、地域振興と産業振興に分けられており、産業振興の面では今の産業振興課中心の進め方でよいかと思いますが、地域振興となると別の担当部署の関わりが必要になってくると思われまます。シンポジウムの開催以外にも学校教育、次世代を担う若者に対する教育も必要でしょうし、PTAなどを通して親の世代に広めていくことも非常に有効です。防災面とか都市計面でも他の部署とのかかわりが必要となってくるとおもわれます。基本構想の6ページに28年度に具体的計画を策定することになっているようですので、その段階では新居浜の他の部署にも参画して検討するようにはしてもらえればよいと思います。

<会長>

ご意見のとおり教育関係、建設関係、環境関係の部署との関連はあるかと思いますが、平成28年度に検討を進めていく際には庁内で協議していきたいと思います。経済部だけでなく庁内全体での推進体制を構築していきたいと思います。

その他に何かございませんか。オブザーバーで参加いただいておりますが西条市からはいかがですか。

<西条市>

産業振興の面から新居浜市と一緒に連携して地域全体として盛り上げていければと思います。

<会長>

有識者として四国岩谷産業さんからはいかがでしょうか。

<四国岩谷産業>

基本構想を進めていくにあたって、水素の危険というイメージがあるが、安全に使っていただくために勉強会とか講習会、セミナーなどで安全性を理解いただく活動を実施していきたいと考えます。

<会長>

他に何かご意見ございますでしょうか。なければ、来年度以降につきましても本基本構想の具体的施策を推進していくために協議会を続けていきたいと考えております。ひとまず、年度末でいったん締めくくりにして、今後どのように進めていくのか、また協議していきたいと思いますが、引き続き皆様のご協力を賜りながら進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いたします。

それでは、以上をもちまして第5回新居浜市水素社会推進協議会を終了いたします。年度末のお忙しいところありがとうございました。